

## ウイルス学会関連研究集会紹介

# 2. 国際B型肝炎ウイルス学会の主催に際して…

渡士 幸一

国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター

### はじめに

B型肝炎ウイルス(HBV)は細胞系も動物モデルでも感染実験の難度が高く、その道の専門家が持つ技術やノウハウの伝承、いわゆるドメイン知識の獲得が非常に重要となります。International HBV meeting(国際B型肝炎ウイルス学会)は年に一回、そんな技術と知識とpublicationに飢えた研究者たちが集い、発表、議論、情報交換、人的交流、若手育成、新たな共同研究の機会など、各々がさまざまな用途に活用する国際学会です。このたび、本学会を神戸医療産業都市推進機構 村松正道先生と、2023年9月19日～23日まで、神戸国際会議場で開催させていただきました。

### 本学会の雰囲気と得られるもの

私がHBV研究を本格的にはじめた2010年当時、HBV基礎研究者は日本に極めて少なく（日本ウイルス学会学術集会でのHBV発表演題数も、片手で余りました）、実験系・検出系を立ち上げるにあたってさまざまな苦労を伴いました。そんな折、当時は100人を少し越える程度の小規模な本学会に参加し、ポスター会場を最大限歩き回り、各国の先輩方から多くの技術やマテリアル、プロトコールやコツを吸収させていただきました。どの老舗ラボとも全く関係のない、徒手空拳な日本人をも許容いただきました。これらの先生方とはその後、共著でいくつか論文を発表させていただくことになりました。その意味で、本学会は私にとって育てていただいたような恩があり、その延長線上に、

HBVを主なフィールドとして研究を続けていられる今の私があると思っています。

本学会も、参加者500人を越える規模にまで急成長しました。アットホームでコアな雰囲気を残しつつも、研究領域の裾野を広げ技術の多様化著しい姿に変わってきました。そんな本学会の主催を（初めて参加した13年前には想像すらできませんでしたが）このたび仰せつかり、ありがたい機会であると同時に、責務の大きさも感じます。今回の学会では、新しいものを取り入れながらも、これまでの良いところをぜひ継承したいと思います。昔の自分ではありませんが、ひとりで困っている研究者であっても未来を切り開くチャンスが転がっているような、研究者それぞれが発展する場でありたいと願います。

### 学会内容

本学会では以下のセッションをおこないます。キャリア初期研究者に対してはTravel awardもご用意しています。口頭／ポスター発表賞もあるかもしれません、乞うご期待。

- ・一般口頭発表：以下の10セッション (1. Novel technologies/models and data analysis, 2. Viral entry to cccDNA biogenesis, 3. Transcription to viral egress, 4. Drug discovery in preclinical models, 5. Host restriction and Innate immunity, 6. Adaptive immunity, 7. Antiviral therapies and epidemiology, 8. Virus host interaction, 9. Integration, pathogenesis, and HCC, 10. Genotypes, Evolution, and HDV)
  - ・一般ポスター発表：ポスターは全日程中掲載。すべてのポスターを2セッションに分けて、2日目と3日目の夕方にそれぞれ討論。
  - ・Keynote lecture：B型肝炎および周辺領域から3講演
  - ・2023年HBV Distinguished Award受賞者記念講演：1講演（今年は誰でしょうか？）
  - ・（サテライト）Patient Forum：B型肝炎患者の体験と治療
  - ・（サテライト）ICE-HBVシンポジウム：最新の治療薬開発に関するシンポジウム
- 実は、本学会約40年の歴史の中で初めての日本開催で

### 連絡先

〒162-8640  
東京都新宿区戸山1-23-1  
国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター  
治療薬開発研究部門  
TEL: 03-5285-1111  
FAX: 03-5285-1156  
E-mail: kwatashi@niid.go.jp



す。世界からお越しになる研究者に、日本のサイエンスとともに、日本の文化や芸術、風土やフードも体験いただきたいとも思っています。そのためにわたくし、神戸の勉強をしています。

#### 昔の自分たちからこれからに

2011年フロリダでの学会では、唯一の日本からの参加者として脇田隆字先生（現国立感染症研究所長、日本ウイルス学会理事長）と二人でした。薄暗くなりゆくテラスの静けさの中、「いざれたくさんの方手と賑やかに参加しよう」とお話をされたこと、今も覚えています。そして今年、約束通り、私どもたくさんの学生さんスタッフさんらといっしょに、本学会を賑やかに、楽しく、そして大切に作っ

て参ります。

#### 学会情報

International HBV meeting (国際B型肝炎ウイルス学会)

日時：2023年9月19日（火）～23日（土）

会場：神戸国際会議場

演題要旨締切：2023年6月16日

\*詳しくは、ウェブサイトをご覧ください：

<https://www.hbvmeeting.org/>

多くのみなさまのご参加、ご発表をお待ちしています。  
ぜひ足をお運びください。